

## 町政を問う！



田中 豊文 議員

橘斎場設備改修工事に関する随意契約の運用について

**問** 何故、当該契約業者でなければ目的を達成することができないと判断して1社見積りによる随意契約にしたのか。

建築と設備工事を分離発注すれば入札にできたのに、何故、建築工事等も含めて火葬炉メーカーに一括発注したのか。

入札にできる可能性があるなら工夫すべき。他のメーカーにも確認をしたのか。

**答** 橘斎場は太陽築炉工業(株)の火葬炉に合わせた建物設計がされており、他のメーカーでは建物の補強が必要になり、火葬や工事の安定性・安全性が担保できなくなる。M社からは現地を確認して建物の補強等が必要になるという報告があったが、他のメーカーについては確認していない。

米軍岩国基地再編交付金と騒音対策について

**問** 騒音被害に苦しむ町民の被害軽減や安心安全のために、交付金による町民への直接的な施策が必要ではないか。

県のエアコン等の設置補助事業についても、地域限定となっているため、町独自の拡大・上乘せ策が必要ではないか。

情報収集も国にゆだねるのでなく、町独自で主体的な情報収集を行い、地域の実態を基に国に対策を要望していくべき。

**答** 再編交付金については、平成30年度では、漁港陸間整備、小中学校空調設置事業、病院事業医療確保対策事業等に使っている。

住宅環境改善支援事業については対象地区の拡大や条件緩和

などを国・県に強く求めていく。

空家対策の現状と実効性ある取組について

**問** 空き家の適正管理に関する条例や空家等対策の推進に関する特別措置法に関する運用状況を尋ねる。増え続ける空き家や空き地の問題にどのような姿勢で取り組むのか。

**答** 空家バンクで活用された空家は80件、空家有効活用事業による空家が7件、条例に基づく管理通知46件等となっている。特別措置法に基づく空家等対策計画は未策定。

増えていく空家に対しての施策は重要な課題であり、引き続き調査研究を行っていく。

病院改革について

**問** 反省と検証のないこの改革案には明確に反対を表明する。

運営面にメスを入れず単に規模縮小しても改革にはならず、いずれ消滅への道を歩むことになる。決算でも見られたように工事や医療機器調達についても

殆どが随意契約という職員の意識こそ問題。

人口減少や経営難は承知の上で3病院2老健堅持の方針を決定し、大島病院を建設し東和病院を改修してきたのに、この方針が変わったということか。

「反省と検証のない改革は無意味」と言ってきたが、これまでに明確な回答はないので改めて答弁を求める。

**答** 反省と検証は大切なことだと思う。急激な人口減少等により平成18年度から赤字経営が続いていることは申し訳なく思う。



さざなみ苑・橘病院